偕に楽しむ第17号

銀杏 市吉沢町 2-22 Tel · Fax 「偕楽園記 並 029-247-0438 ホームページ 木 http://www.k airaku-en.jp/ 偕 さと」 と 役 に L お決 員

第 17 号 偕楽園公園を愛

0)

合唱、

まり

0

ŧ IJ オ ı ク &

園の た。しかし当日の悪天候が予想され を味わい尽くす行事を企画しまし 勤労感謝の日に、偕楽園公園の魅力 した。幸いこの日は青天で偕楽園 たため、二十五日(土)に延期しま 成 魅力を満喫できました。 |十九年十一月二十三日の 公

偕 楽園公園紅葉狩りウォー ク

集合しました。 で連絡もうまくできて、参加者は ユネスコ協会のメンバーの茨城)名。 ジオネット水戸・大洗や水 前九時半に護国神社鳥居前に 事 前申し込みにしていた 突然の延期にもか 約 か

班に分かれて、 くれました。 水 歴史アドバイザ 戸の案内で二 ŧ

大学生も参加

して

みじ谷 門 龍 泉 茨城県立 遊亭跡 梅桜橋 す。 ク け

歩い 碑 じを楽しみました。歴 楽園表門 -タ 更 一前 て、 館 偕楽園 ·前 の し遅いもみ コ] [公園 -スを

は思った以上に紅葉があることが カュ ŋ 散 0 てい ましたが、偕楽園 館 の銀杏並木はす 公園

に 0

第 感じられました。 部 偕 に楽し む 交 流 懇 親 会

会が

世

話している花壇の

前

の芝生

広場で昼食と交流

懇親

民 女性役員が水府二区公 にぎりのパック以外は 放題お代わ 館 0 昼はおにぎりとト 調理室を借りて 漬物と柿 り 自 电。 は 食べ お

前 日 に用意したもので

1

イズやゲーム、手をつないで「ふる 6 昼 れました。 食後には 拙 広場で 誠 会の は 茶 偕楽園○ 0 湯 席 も設 X

する市民の会 事務所 〒310-0845 水戸

魅力を発掘し、 だまだ知られてい 実施しましたが、身近にありながらま のには驚きました 楽園が日本遺産である」に「×」が多 活動を続けていきたいと思いました。 地方創生応援事業」の 今年は大好きいばらき県民会議 勝ち残りがほとんどいなくな 広めていく、こうした ゴゲームと「偕に楽 ない (○が正解)。 む 〇×クイズで 進みました。 0 、偕楽園 補助 プロ IJ] を原資に

0

た

見を交わしました。

と水

戸

市の担当者と提言に

ついて意

公 園の魅力向上を考える提言集 魅力向上委員会 -

年度)、 地 見と新たな価値 てきました。 チングと県や市 (二十七年度)、 年 · 前 逆 から偕楽園 Ш 緑 地 0 (二十九年 創造 沢渡川 0 整備 公園 心のため、 の魅力の 計 緑 度 画 地 など 二十八 桜川 0 を 再 ウ 聞 オ 緑 発

と \otimes た提言集を作ることとしました 工 そして偕楽園 リアごとの意見 公園 0 要望を取り 全 体 0 現 /状評 ŧ 価

グラムが 0 ピ 最 偕 ン ŧ 後 行い 交わ 九 ら紀州掘緑地を歩い 緑 地 平 年 提 提言 十月 しました。 課 成三十年一月十五日水戸市 言 0 取 係員とともに、西の 集の から ŋ まとめ 原案が完成しまし 計 二月六日には、 七 口 0 , て観 ため の会議と作 Ó 谷緑 平成二十 意見 茨城 公園 地

K

カン

各方 を進める予定です。 新 面に配布し、 年度に要約版とともに印 魅力向 上 の働きかけ

 \mathcal{O}

会報 偕に楽しむ」 第16号発

成二十九年十月十日、 研修委員会 会報

公園

 \mathcal{O}

に 記 B5版裏表の二ページで、総会関 さ 楽し 事と前半の行事 1 ジ Р 平 に D じ 掲 F 版と大きい写真をホ 載 第 1 7 6 を紹介していま 号を発行しまし ますのでご覧くだ ムペ た。



平

(2)

活 大

動

報

庭 ツ 大 ŀ

交流委員

会

十七日、「第 九 口 畄 大名庭園サミット 月二十六日~二

県 当 『会から一一』 加しました。 医 サ 会から一一名が日大会」が開かれ、 第 師 ミット 一部サミッ 会館 を は 会 畄 参 Ĺ 場 Ш

基与大調の会 湖講演で芸い加藤康7番が内閣宮 幕子官 が氏房

参き、 実 中 6 カテル 日 加 施 され Ш 部 は L 岡 城 交流懇親 たシンポジウム、 ました。 見学のエクスカ グランヴィア Щ 後楽園散 会が持たれました。 会構 クスカーションが 散策と天空の里備 成 岡 団体すべて **岡山を会場に** 一年後六時か 海で幕が開演で幕が開

感 想 日 本には・ 記 加 ざれ 事を紹介します。 た郡 大名庭園と言わ 司 敏枝さん \mathcal{O} 報

が

あ

現 在

L 進

織され、歴史始 で流協議会が知盟 で流協議会が知盟□ な文化遺 る大 (名庭園 潰 產歷 を で あ的組間し

平成 30 年 4 月 20 日

興 園 目 的 E を 'n \mathcal{O} 事 寄 や活 \mathcal{O} 活 与地か業 す域 L を 動 動していまいたまちでいませんであることを通して庭で通して庭いまたがある。 大

ま革の遺は岡山との遺で大名 を加た . 「大名字 庭 加 藤 嵐 藤康子氏の基調講演の上げ世界遺産登録 日本遺産の提言に向けて~」 寸 産」として二三の マのもと、 楽 体が お 庭 遠 で開 世界遺産登録 亰 互 「を世界のp いの庭園の 「わが庭園 違点を知り、 催され ことを知ることがでーリーを成している園文化が一つのスト伝統的な美意識や庭庭点を知り、日本のの庭園の共通点と相の庭園の共通点と相 「明治日 まし 遺 がを実現させる構成資産を \mathcal{O} 産 お国自慢」 続い 本の産業 大会は · て参 世 界



た。

当偕

楽

湊会!

表し 協議 ました。 会顧 問 まの最長園

かがらはい 二 日 5 て三百 くつろいだ建物 出 士 山歴 明 五. 城を眺る るく広 + 目 年は、 で思いに心をも、 「の思いに心をも、の歴史が息づく後楽園・ 特別名勝に指定さ 氏 望、 から全体講 々とした庭 特別の心を 延延 公開 養 評が 亭」 亰 景色 中の世 \mathcal{O} あ を居藩な眺間主が 園れ ŋ で

> で 閣 変 の 研 ら の研修を終了しました。から城下町を眺め満喫し空の城、備中松山城へ登 口 「城へ登 喫し 城、 岡 \mathcal{O} Щ 天守 大 後、 会

本記 事の写真はすべて鹿 熊 律 子氏

出 山 津田永忠顕 彰会.

研修委員会

氏所サ 別 3 亚 (本会副 館 ツ で開 \vdash 事十 会長)、 いきまし 前九 研 遠 修 と岡 会を常 月 演題は 九 Щ 日、 講 藩郡 師 岡

園

が参加しました。 図の民間団体は、 氏はまず「岡山 Ш

庭三〇〇年記 から大名庭思 たので、後ぬ たので、後ぬ たので、後ぬ たので、後ぬ たので、後ぬ たので、後ぬ 会として発見の場合と 明されました。 政と津 という回答を紹介されました。後楽園だけに限った会では名庭園民間交流会を発足させ 質量料 光足した団体が、浴い「もともと津田も 記 な **津田永忠の業績について立ち、後楽園を造園した料を元に岡山藩や藩主池** 記念事業に参加したこと足した団体が、後楽園築「もともと津田永忠顕彰 \mathcal{O} \neg か。」という 岡 Щ 藩 郡代 疑 津 問 問と、1 なぜ 楽

田うあ岡 لح つ山名 次 付 公です」という岡山 と、「そうではなく次の藩主 け 了 ② 岡 養子にす たの は山 いは正しいで (徳川斉昭な 1の御後園は 1の御後園は の田 |公の か。」 後 九男で 楽 価主池 公で

> 川家斉や徳里が子女が多り 紹介されまし 家斉や徳川 件や いことにち 予育問 ることを述 公が 題 0 原因になって 多くの子ども な λ で 池 5 将 田 軍 徳 政



忠の名前 永忠は後楽園 芳子さんか あることが ったがすごい 講さ n 分 知 た 人物 $\overline{\mathcal{O}}$ 6 か 4 保 0 な で 田 か 田

のように 基礎を作っ が今で、 高い教 めらべ 、『日本の教で、 とは、当時外国で、 とに庶民を教育 えは、 水工 を つでもこの同様を ル 事、 目 7 的 新)教育を発[外国ではあ た人物であ 田 L 田開発など岡山の登した閑谷学校や藩内 い国として諸なの国の根幹にな 国の根幹になり、教育であった。そしてそれ らず、 لح 教育しようという考物である。閑谷学校発など岡山の発展の闲谷学校の藩内の治 足させ、 感 忽想を寄 まり見ら たの 国 せ 5 は、 ŋ れ な

花 -ナ I ク

力 向 上 委 員

球根 り過ぎた花 花が終わる 後期 埋 月 十三 は、 \otimes 込み っつたり、 今年度の活となど、 剪定など、 茂に

わりまし

て、

弘 活 道

動

館 親 報

語 委員

平成二十九 年 度 安 後 岡 期 定 \mathcal{O} 子先 生

加

て

語

^昭素読」 <u>-</u>種イ

います。

の周りは暖か 室で実施しました。 学習センター講座 至善堂、一月~三月 至善堂、一月~三月 師 曜日、 迎 、十月 える毎 万から十 月

道 ま 館れ、 明でも和やかに教心、開けっ放しの弘 今年は好天に恵

とつものとおり、元気ないがしかったですが、いまりはさすがに寒さが 声がひびきました。 室が進みました。十二

議室スタイル。 。 畳の上に書見台が並したが、机と椅子の会庁舎の部屋に移りま一月から県三の丸 身近に触れあった弘 道館と違って普通 友達や兄弟・ 親と \mathcal{O}

学校のようです。 0 間 か なると、こぞ 子供たちの や首唱に 小さく

> で参 手 卜昨 が

年

から

とか

でき 生

どちらにも拍

こります。

塾

県立図: で親子での また平 子ども読 [書館) 論 書)で県立図書館横の広場書フェスティバル」(茨城番)の一後期は十一月五日の 語素読を披露しました。

道館者とする。 ★計「維新の光は水戸一五○年記念イベン戸市主催の明治維新ーター月二十八日に水土 道館正庁の関 から昇る in 素読を披露 の前で親子 かれ、弘 弘道館」

での記念イベントに欠かせないもの素読を続けてきました。今や弘道館 平成梅林事業終結特別委員会になっていることを実感しました。 素読を続けてきました。中断もありましたが弘道 論 -断もありましたが弘道館で論語論語塾が開校して九年間、震災後 \mathcal{O}

庁

で、 業の終結について」の決議 昨 成 、会発足以来の中心事業の一つの終結について」の決議が採択。年の総会で「平成梅林整備促進 Р P V (梅輪紋ウイ はした。そこで、価動の再開を断りイルス)感染 員

さ 事

> 理事・ 前会長、 司前理事、 事業の中心になって活躍 しています。 街路課と偕楽園 監事のうち六名、 宮嶋敬夫特別顧問、 現役員、 顧 公園 間 から会長 \mathcal{O} 園課の職員で構成ハ名、茨城県公園 中 -から平成 された和 ·副会長、 後藤詮田林 しま

いていない時期に偕楽園の梅や梅園で、偕楽園公園の梅林の充実・整備で、偕楽園公園の梅林の充実・整備を宣に賛同して寄せられたものなのは全国から多くの人々が平成梅林の事業の残金について決議で「これ なプランを検討しました。の魅力を感じてもらえるようなないていない時期に偕楽園の梅やないていない。 様 Þ

行に五○万円の二事業を行うことを梅林整備促進事業終結報告書」の発制約のある中で、大型写真パネル展制約のある中で、大型写真パネル展別として現状変更が難しい、などの財として現状変更が難しい、などの財として現状変更が難しい、文化 定しまし として現状変更が難しい、た費用や人手をかけられない、

梅林の大型カラー 前者は、 梅が

度に配布する予定です。

ただいた個

「人・団体・組

織

企業な

ってもらおうという 写真パネル展示台に 写真パネル展示台に が開花している時期の もの 期 です。 に 梅 本園 ま 0 内 り 取 パネルの以外のあえ

種を全国から収集し、品種において 日本一の梅園を作る」という平成梅 村の趣旨に賛同し、全国から一〇〇 人以上(団体・企業を含み、重複 あり)、七五〇万円以上の寄付を得 て(ほかに助成金一五五万円)、四 て(ほかに助成金一五五万円)、四 で(ほかに助成金一五五万円)、四 は、きるに足る貴重な事業です。こ は、きるに足る貴重な事業です。こ 人々に対する責務です。報告書はパネルの完成後遅くならない時期に印 別し、図書館・市民センター・マス コミなどのほか、事業に協力してい のです。 また、 たものの、 月 ことを提案してい 枚用意して時 「終結報告書」を作成・配布するもできた。 平成権材整備促進事業の (末には完成し、公開する予定です。)とを提案しています。 これらは五9真を見晴亭の欄間に通年掲示する 五. 最終的には実現できなか から収集し、品種において「失われつつある梅の品 梅 林 9

会長である和田祐之介顧問 \mathcal{O} 梅園 特別委員会構成 末に私 を目 **指して』と題する報** 他之介顧問が、『日 貝会構成員で本会前 企画 費で刊行されまし 実行 公式 \mathcal{O}

置

事業の残金三五〇万円を有効に活

念することが決まりま

本

年 度 の 活

動

計

画

「水戸城歴史ロードと城東地区の歴史散策」 魅力向上委員会

残る歴史・史跡と常陸山・ の生誕地を巡ります。 ドと完成間近な大手門、 整備された水戸城歴史ロー H・横山大観 城東地区に

日時:平成三十年五月二十日 時三〇分~一三時 (日)

集合場所:茨城県三の丸庁舎前

案内説明:歴史アドバイザー水戸 ,加費:五○○円(弁当・保険等) ・下市住民など

※五kmほど歩きます。雨天時中 Tel&Fax:○二九-二三一-○八五七申込問合せ:魅力向上委員会 浅川 申し込み締め切り:五月十日 止

公園の魅力向上を考える提言集の活用 魅力向上委員会 -

まな方法でその実現を図りま して意見を伝えます。 えて印刷し、 提言集(1面に説明)を要約版を添 楽園公 行政や関係機関 園の 魅力向上を考える また、 さまざ す。 ^ 配

示とワークショップ

昨年大好評だった「ブラタモリ~ 偕楽園公園魅力発信プロジェクト 力発 7

平成 30 年 4 月 20 日 もっと知りたい~偕楽園」。ジオパー ク水戸大洗が加わって八団体とな

> 示とワークショップを企画します。た魅力発信プロジェクトは今年も展 日時:平成三十年七月二十四日~ 一十九日、九時半~一五 今年も展

場所:偕楽園公園センター

ギャラリー・会議室他

借 ※副題・展示内容・イベント等検討中

楽園公園「花パートナー」活動

魅力向上委員会 -

給水などの作業をします。年目、今年も毎月一回除草、植栽、えて日本らしい花壇を造り始めて四四季の花を組み合わせて花苗を植

講話を聞いて、交流を深めます。務所で身体活動や会員の得意分野 日:毎月第二月曜日 作業終了後、 公園広場や偕楽園 の事

時:九時~ 九時半~一〇時半(四·五·十一月) 一〇時 (雨天の時は第三月 (六~十月) 耀 日

親と子の論

先生の指導で開講します。会年も弘道館を会場に、安岡校一○年の大きな節目を迎えており 「弘道館 平成二十一年八月一日に開校した 親と子の論語塾」は、開 論語委員会 -

日時:每月第一土曜日

場 所:弘道館至善堂(四月~十二月) 城県水戸生涯学習センター 講座室(一月~三月) ○時半~一一 時半

講師:安岡 定子先生

> 一時半 テ 受講料:一回一家族一〇〇〇円 対象:子どもと保護者・大人の 、キスト:『心を育てるこども論 塾』ポプラ社(税別一 参加も可



ŧ 偕に楽しむ集い PartⅢ じ狩りウォー

ながら交流会を行います。 を訪ね歩き、終了後昼食をともにし 晩秋の十一月、偕楽園公園に紅葉 魅力向上委員会&交流委員会 -

み合わせて懇談・交流します。 ため、他の団体とも協力して、散策 年やってほしいとの声が大半です。 業から始まった秋の交流懇親会も毎 と好評でした。また、十周年記念事 企画した紅葉狩り、意外なアナ場だ 力をもっと広く市民に知ってもらう 食事会、ゲームなどのイベントを組 今年も偕楽園公園の知られざる魅 偕楽園であまり行事のない時期に 日、十一月二十三日 場所等未定

大名庭園サミット熊本大会.

4 \mathcal{O}

交流委員会 -

きました。 うですが、 大会として開催することになりまし 庭園サミット熊本大会を第一二回 地震からの復興はまだまだのよ 昨年 地 震の 観光客を迎える準備 ため中止となった大

()()(円)

日程:平成三十年十一月十二日 ~十三日 (火) 月

と思います。 事前学習会も研修委員会とも協力し 定ですが、決まり次第発表します。 て行う予定です。 大会テーマや会場などの詳細は未開催地:熊本市水前寺成就園 大勢で参加したい

楽園保存会と協議し、実行委員会をことになると思いますが、小石川後 りました。国体の終了後に開催 結成して準備をすすめます。 小石川後楽園と共催で行うことにな 来年度のサミットを水戸偕楽園 する

ホームページとフェイスブッ ク

研修委員会 -

性を活かして、従来のインターネッ 会」のページを作成しました。速報ク上に「偕楽園公園を愛する市民の 報に活用したいと思います。 ト上のホームページと連携しつつ広 成二十九年 十月、フェイスブッ

フェイスブックに登録され 友達になってください。 る